

さつきやま魂

さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成

崎山中学校 だより
12月24日 第16号
文責 校長 山下



コロナ禍の2学期終了！

新型コロナウイルス感染症拡大の中スタートした2学期となり、とても心配されましたが、今日で無事2学期を終了することができました。今日の終業式では、1年代表の坂井桃果さん、2年代表の白岩蓮望さん、3年代表の原田唯香さんが、2学期の反省と3学期に向けての思いをしっかりと述べました。

私からは、2学期に重点事項として取り組み、さつきやま魂にも通ずる「時を守り、場を清め、礼を尽くす」ことについて振り返ってみました。「時を守り」では、「2分前行動」の意識化を図りました。「時間が無いから急ごう。」など、誰かの一言があると素早く行動することができました。「場を清め」では、「靴ならべ」をお願いしました。登校後、下駄箱に靴を置く時に、一度置いた後並べ直す人が増えました。片山生活部長も学校全体によく声をかけてくれました。「礼を尽くす」では、気づくと同時に、遠くからでも気持ちの良い挨拶をする人が確実に多くなりました。まさに、生徒会が力を入れて取り組んでいる「挨拶4箇条」の成果です。

3学期に向けては、「時間を意識して、気づいた人が『急ごう』などと呼びかける。誰も見ていなくても立ち止まって靴をならべる。どこでも、周りに誰がいても気持ちの良い挨拶をする。』など、さらなる主体的実践により、さつきやま魂の自主につながることを期待しています。

今年も残すところあと一週間となりました。明日からは少しだけ長い冬休みに入ります。生徒一人ひとりが充実した冬休みを過ごし、3学期には、「新しい志」を胸に、全員元気に登校することを楽しみにしています。また、今年一年、保護者の皆様には御協力いただき本当にありがとうございます。どうぞ良いお年をお迎えください。



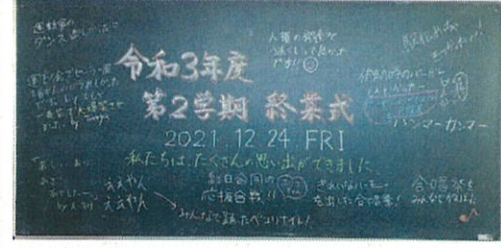
〈2年郷土料理実習〉



〈1年読み聞かせ〉



〈生徒会全校遊び〉



新生徒会役員への引継ぎ

12月14日(火)、生徒会立会演説会及び投票が行われ、藤尾生徒会長・山内副会長が承認されました。また、23日(木)には、生徒会役員任命式後に引継ぎ式が行われ、里中生徒会長から藤尾新生徒会長へ校章旗が引き継がれました。新生徒会役員は、今の強い思いとやる気を忘れず、自分たちで考え、思う存分活動してほしいと思います。なお、新生徒会役員は次の皆さんです。

- | | |
|------|------|
| 副会長 | 藤尾朗人 |
| 書記 | 山内鈴葉 |
| 生活部長 | 坂井桃果 |
| 学習部長 | 清水利輝 |
| 給食部長 | 白岩蓮望 |
| | 入江善幸 |

引継ぎ式後には、退任式が行われました。里中生徒会長をはじめ、旧生徒会役員一人ひとりが挨拶があり、最後に、新生徒会への気持ちのこもった次のメッセージが贈られました。

「健康な身体。学習に取り組む姿勢。爽やかな挨拶。諦めない心。きれいな校舎。信頼できる仲間。」



〈校章旗引継ぎ〉



おしらせ

1月11日(火)
3学期始業式

1月11・12日
実力テスト

1月16日(日)
地域貢献(ハトマト)
親子料理教室

ハトマトへの参加について

1月16日(日)にはハトマトが実施される予定です。当日は、地域貢献活動及び親子料理教室を学校行事として行います。ただし、先日ハトマト実行委員会からの案内があったように、ハトマトへの参加については保護者の承諾書が必要です。なお、午前中、男子は地域貢献活動を、女子は親子料理教室を実施します。不明な点などがありましたら学校へお問い合わせください。

ふるさと五島の魅力
五島市への移住者が増えていることをテレビ番組で知った。ここ3年で毎年200人以上だと聞く。しかも、ほとんどが20〜40代だそうだ。この数字は驚いた。インタビューを聞くと、五島市の自然に感動している人の多いこと。私たちが当たり前だと思っていることが実は当たり前ではないことに気づかされた。私たちのふるさと、大切にしたい。

「コミュニティ・スクール」とは何？

「コミュニティ・スクール」とは、学校運営協議会制度を導入した学校のことです。崎山小・中学校では、令和4年度から学校運営協議会（「さきっ子育成の会」と命名）を設置し、コミュニティ・スクールへ移行する予定です。

○学校運営協議会とは？

国の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第47条の5に規定された組織です。

その趣旨は、保護者や地域住民の学校運営への参画や連携を進め、地域に開かれ、地域に支えられた学校づくりを進めることです。

○「さきっ子育成の会」が目指すものは？

子どもの周りにいる地域の大人が、協力し合い、崎山地区の子どもたちを、学校とともに育てていこうというものです。

つまり、今以上に「地域とともにある学校」づくりを目指します。

地域とのつながりの深い崎山小・中学校にとって、適した制度だと考えます。

○「さきっ子育成の会」の役割は？

- ・校長が作成した学校経営方針の承認
- ・学校や教育委員会に対して、学校運営等に関する意見の申し出
- ・学校運営等に対する評価
- ・学校運営等に対する住民参画のための情報提供

○「さきっ子育成の会」の委員はどんな人？

- ・児童又は生徒の保護者
- ・通学区域内の地域住民
- ・地域コーディネーター
- ・学識経験者
- ・関係行政機関の職員
- ・その他教育委員会が適当と認める者から五島市教育委員会が任命します。

○これまでの組織との違いは？

これまでの「学校支援会議」では、個人の意見を述べ、学校へアドバイスをするというものでした。

「さきっ子育成の会」では、熟議によって決定したことを、地域と学校が連携・協働して実践していきます。

委員は、特別職の地方公務員の身分となります。

○これから、何をどうするの？

・学校運営協議会（「さきっ子育成の会」と命名）で、学校と地域との共通の目標やビジョン（将来の見通し）をつくります。

・目標達成のために、「さきっ子育成の会」で、取組等を協議します。

・決定した取組を実践し目標達成を目指します。

※コミュニティ・スクールは、「社会総掛かりでの教育の実現」を目指した学校です。